

カメコ遺跡

- 1 所在地 大島郡伊仙町犬田布いせん いぬたぶ
- 2 起因事業 県道伊仙天城線道路改築事業あまぎ
- 3 調査年度 試掘調査 平成21年度
本調査 平成24年度
- 4 主な時代 縄文時代晩期～弥生時代
- 5 遺跡の概要

カメコ遺跡は、伊仙町北西部、海岸線から約500m、山地から南へ緩やかに下降してきた台地の端部に位置し、縄文時代晩期から弥生時代の遺構・遺物が発見されました。現在、報告書を作成しています。



犬田布式土器出土状況

町田堀遺跡

- 1 所在地 鹿屋市細山田ほそやま だ
- 2 起因事業 東九州自動車道建設に伴う県内遺跡事前調査事業
- 3 調査年度 確認調査 平成24年度
本調査 平成25年度
- 4 主な時代 縄文後期、晩期・弥生時代・古墳時代
- 5 遺跡の概要

町田堀遺跡は、大隅半島北部を流れる串良川右岸に隣接する台地に位置します。確認調査の結果、縄文時代後・晩期、弥生時代、古墳時代の包含層ほうがんそうが確認されました。また、縄文時代後・晩期の集石遺構や古墳時代の地下式横穴墓が検出されており、今後の調査成果が期待されます。



地下式横穴墓断面

加治木堀遺跡

- 1 所在地 曾於郡大崎町野方か じ き ぼり
- 2 起因事業 県道大崎輝北線（野方IC工区）改築事業
- 3 調査年度 確認調査 平成24年度
本調査 平成25年度
- 4 主な時代 縄文早期、中期・弥生時代
- 5 遺跡の概要

加治木堀遺跡が所在する野方地区は、標高200mのシラス台地を菱田川の支流である大鳥川が浸食し、小台地群に分断された起伏の多い地形です。加治木堀遺跡はその台地の中央部に位置します。平成19年度に東九州自動車道建設に伴う発掘調査が行われ、縄文時代中期の落とし穴が7基発見されましたが、今回の確認調査において新たに1基が検出されました。また、弥生時代中期の竪穴住居跡も発見されました。



縄文時代中期の落とし穴